



## 巣鴨駅前 胃腸内科クリニック

- 診察時間：午前 9:30～13:00（火曜をのぞく）  
午後 15:00～19:00（火曜、日曜をのぞく、土曜は17:00まで）
- 休診日：火曜、日曜午後、祝日
- 所在地：〒170-0002 東京都豊島区巣鴨1-18-11 十一層ビル4階
- TEL：03-5940-3833
- URL：http://sugamo-ichou.com



院長

神谷雄介（かみや ゆうすけ）先生

2006年国立佐賀大学医学部卒業。共愛会戸畑共立病院、板橋中央総合病院、卓秀会平塚胃腸病院を経て2016年4月より巣鴨駅前 胃腸内科クリニック開業。日本内科学会認定医、日本消化器病学会専門医、日本内視鏡学会専門医など

### 「消化器疾患の専門的診療を提供する駅前クリニック」

#### 患者さんに寄り添うクリニック

当院は、患者さんの生涯にわたって寄り添っていく医療を目指すため、今年4月に開業したクリニックです。JR巣鴨駅から徒歩2分という立地で、消化器・内視鏡専門医としての実績を活かし、専門性の高い外来診療に取り組んでいます。また、仕事や学業で日中や平日の受診が難しいという患者さんのニーズに 대응するため、夕方や土日の診療も行っています。

#### IBDの診療内容

現在当院では、約50名の炎症性腸疾患（IBD）患者さんを診療しており、その多くが潰瘍性大腸炎（UC）です。軽症から中等症の患者さんがほとんどですが、重症や急性

期の患者さんには、近隣の総合病院と連携をはかり速やかに対応します。

クローン病（CD）の治療は、5-ASA製剤と生物学的製剤のトップダウン的な使用が中心となります。大腸型の患者さんには顆粒球吸着療法（GMA）を行うこともあります。また、現在管理栄養士に協力を仰ぎながら、患者さんに食事療法・栄養療法に関する指導を行うための準備を整えています。

UCの治療は、5-ASA製剤が基本となります。UCは重症化すると患者さんのQOLに大きく影響するため、中等症でくすぶっている症例にはGMAや生物学的製剤などを積極的に用います。また、再燃と寛解を繰り返す場合には、寛解導入治療で症状が落

ち着き始めたタイミングで免疫調節薬を併用することで、十分な寛解維持効果が現れるように工夫しています。

#### 他治療との併用が可能なGMA

GMAはUCの中等症や再燃初期の患者さんに対して非常に効果的な治療法です。副作用が少ないという特徴から、ステロイドよりも積極的にGMAを選択する患者さんも多くいます。当院ではGMAを週2～3回のペースで施行しています（インテンシブ療法）。また、他の治療との併用ができるのも特徴のひとつです。先にGMAを行い、後からステロイドを導入、もしくは併用する場合、ステロイドの投与量を少なめに抑えることができます。

#### 適切な治療・検査のためのコミュニケーション

IBD診療では、医師と患者の信頼関係が重要だと考えています。コミュニケーションを積み重ねることで、患者さんご自身の症状や悩みについて話しやすい環境になり、より適切な治療を行うための情報を共有することにつながります。

また、正確な病状把握のためには内視鏡検査が重要です。



最新の内視鏡機器を備え「苦痛のない、正確な検査」を実施している



リクライニング機能付きのソファに座り、楽な体勢でGMAが受けられる

が、その一方で患者さんの受容性も考慮する必要があります。当院では、内視鏡検査に抵抗があるという患者さんには、先にエコーや便潜血などで負担の少ない検査を行って病状を把握します。その上で、やはり内視鏡検査が必要だと判断される場合でも、カメラの先端にフードを装着したり、挿入方法を工夫するなど、「苦痛のない、正確な検査」を受

けていただけるよう取り組んでいます。

#### 継続した治療を

IBDは長期にわたって付き合っていく慢性疾患です。良い状態を長く保つには治療の継続がなによりも大切になります。ご自身の判断で薬の服用や通院を中断したりせず、私たちと一緒に治療戦略を組み立てていきましょう。



巣鴨駅前 胃腸内科クリニックスタッフのみなさん